

特別展覧会

リスト生誕 200 年記念

「ロマン派作曲家たちの 自筆書簡」展

ごあいさつ

本学は、開学以来、川並香順記念講堂において著名な演奏家によるシリーズ・コンサートを毎年定期的に数多く開催し、クラシック音楽から現代音楽までの幅広いジャンルの音楽を楽しむことができます。これは本学の実物教育の一環として開催されており、昨年は高円宮妃久子殿下をお迎えしての 1,500 回記念シリーズ・コンサートを開催いたしました。

本学では、世界各地から、学術・研究用の資料を収集しており、音楽に関連する資料も数多く収集しております。なかでも音楽家たちの書簡は、当時の交友関係やお互いに助け合いながら生活している様子などをうかがい知ることができます。特にこの度の東北地方太平洋沖地震の発生により、津波の被害、原子力発電装置の破壊など、私たちの身の回りの生活には様々な変化が生じています。このような世情の中にあっても、音楽によって得られる心のやすらぎや、お互いに助け合い、相手を思い遣る心、そして本学の建学の精神である「和」の心が最も大切だと感じております。

今年はリスト生誕 200 年に当たります。ここに、リストとロマン派の音楽家たちの自筆書簡を展示いたします。この展覧会を通じて、当時の音楽家たちの生活を振り返り、心が癒される音楽の成り立ちを知る一助になれば幸いです。この機会にごゆっくりご覧ください。

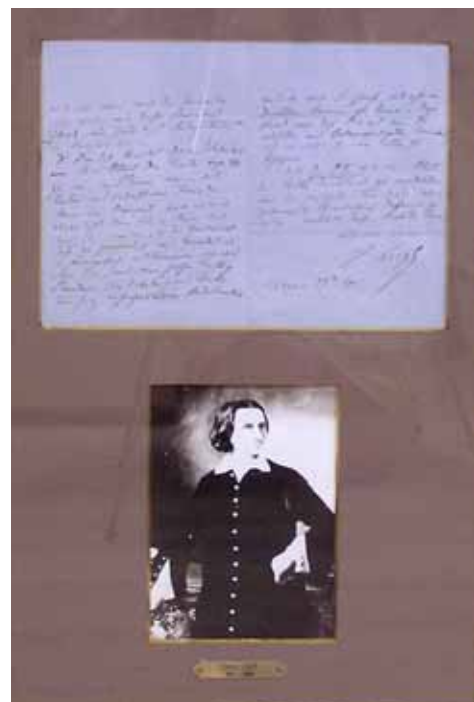
平成 23 年 8 月 1 日

学校法人東京聖徳学園理事長
聖徳大学学長
聖徳大学短期大学部学長
学園長 川並弘純

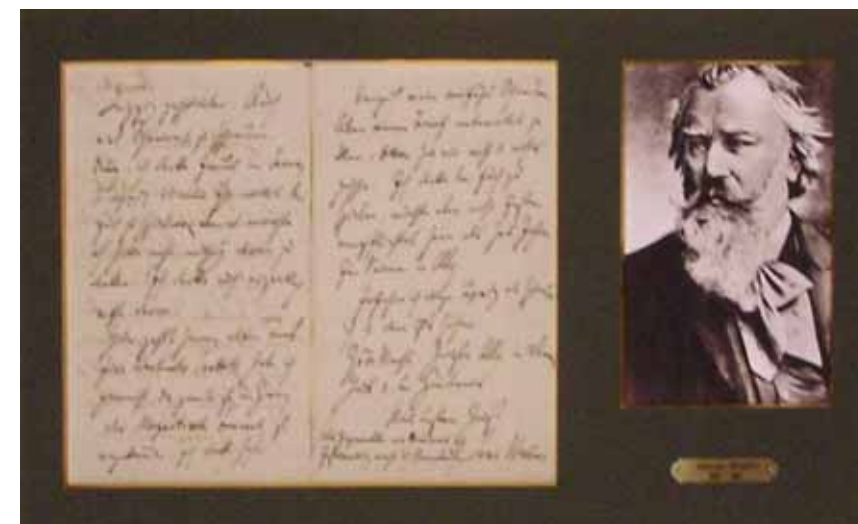




ロマン派作曲家たちの書簡



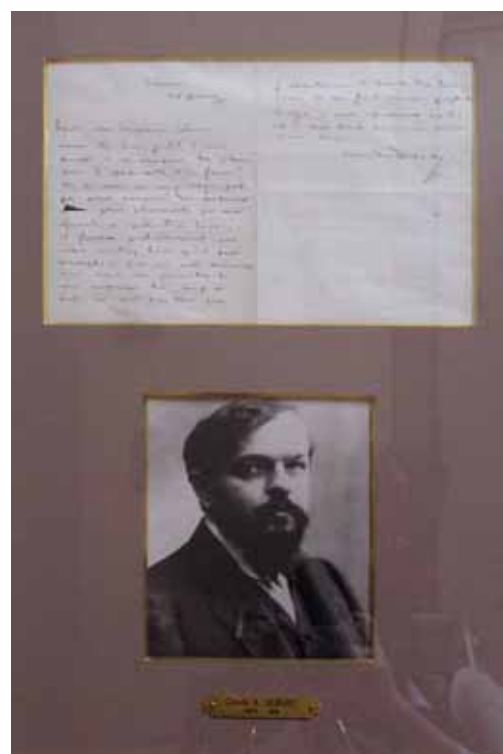
翻訳（冒頭の一部分）
拝啓
我々の親愛なるご領主が寛大にもご了承くださって、大変喜ばしく存じます。私は次の土曜日（今月 30 日）レーベンベルグに向けて発ちます。以前、殿下に申し上げたとおりの運びとなりました。ドレスデンでいくつかの要請がありますので、数時間留まらねばなりません。おそらくその日の午後の汽車で先に進み、土曜日か遅くとも日曜日の朝（5 月 1 日）にはブングラウに到着します…



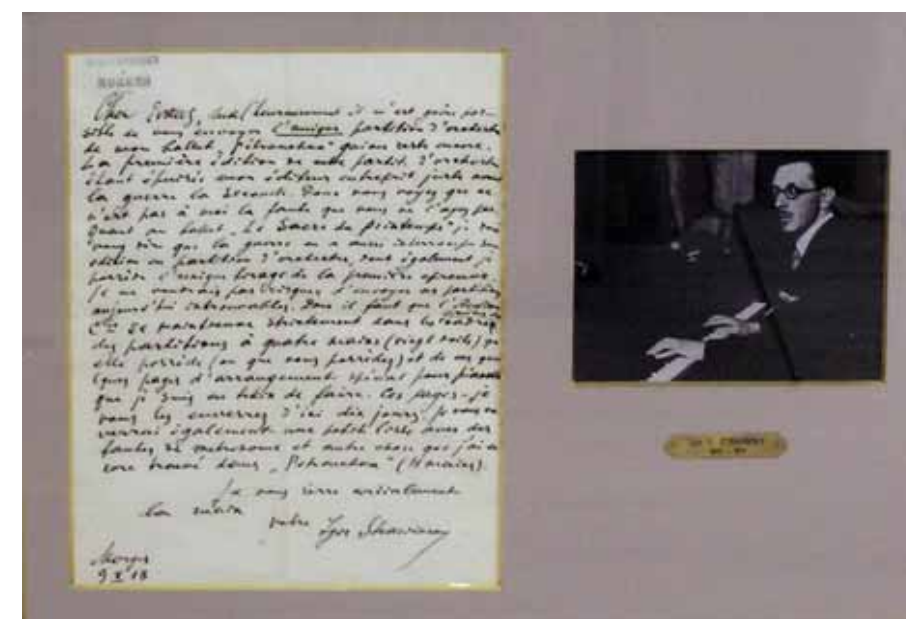
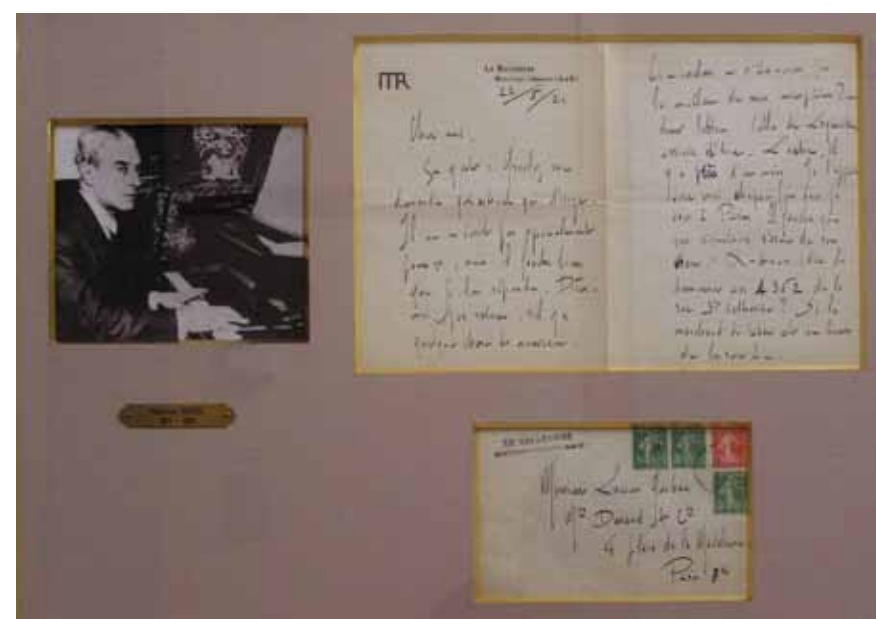
リスト（ハンガリー 1881～1886）

ワーグナー（ドイツ 1813～1883）チャイコフスキー（ロシア 1840～1893）

ブラームス（ドイツ 1833～1897）



翻訳（冒頭の一部分）
親愛なるコロヌヌ氏へ、
「牧神の午後」のチケットをお送り下さったお心遣い、本当にありがとうございました。もし私が伺えない時は、代わりに私などよりもっとチャミングな方たちに行ってもらうことにします。「リア王」については、おそらく別な作品に代えたいと思っています。何にするかはお楽しみです。だからといって「リア王」のアイデアを止めてしまおうとしているわけではありません……。



ドビュッシー（フランス 1862～1918）

ラヴェル（フランス 1875～1937）

ストラヴィンスキー（ロシア 1882～1971）

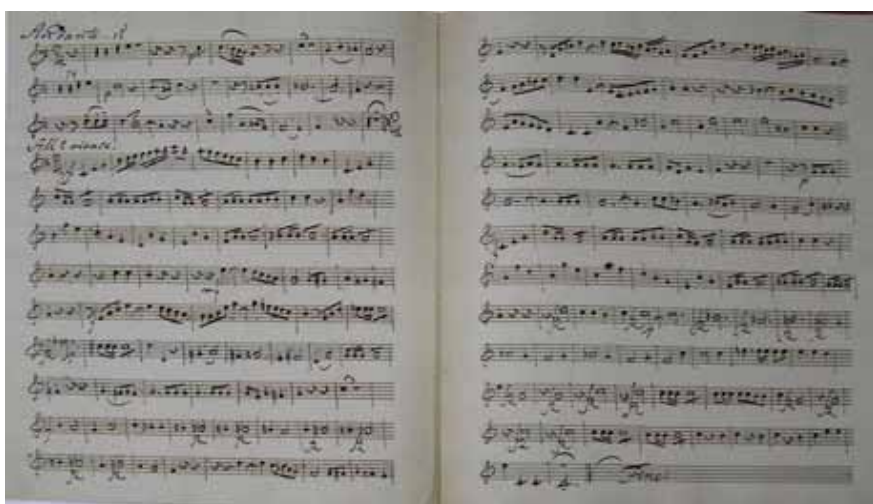


特別展示



シューベルト（オーストリア 1797～1828）

「マニフィカート 八長調」は、1815 年、シューベルトが 19 歳の時に作曲した。書き写されたオリジナルのパート譜だけでなく、自筆の管楽器やティンパニーのパート譜も現存している。完全に残っているパート譜は、ソプラノ、アルト、テナー、バスの独唱、合唱、二本のオーボエ、二本のファゴット、二本のトランペット、ドラム、弦楽器およびオルガンである。この原稿はシューベルト独自のはっきりとした几帳面な直筆で書かれている。シューベルトの自筆の楽譜は 31 歳という短い生涯のため非常に珍しい。



「マニフィカート 八長調」 完全な第二オーボエのパート譜

展示している作曲家

リスト、ベルリオーズ、シューマン、ワーグナー、フランク、ブラームス、サン＝サーンス、チャイコフスキー、ドヴォルザーク、プッチーニ、ドビュッシー、シュトラウス、シベリウス、レーガー、シェーンベルグ、ラヴェル、バルトーク、ストラヴィンスキー

会 期：平成 23 年 8 月 1 日（月）～平成 23 年 10 月 29 日（土）
午前 9 時～午後 5 時（休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日）

会 場：聖徳大学 8 号館 利根山光人記念ギャラリー

会場への案内：JR 常磐線・JR 乗り入れ地下鉄千代田線・新京成線とも
松戸駅下車、東口より徒歩 5 分



発行・お問い合わせ：聖徳大学川並記念図書館

Tel: 047 - 365 - 1111 (大代)

<http://www.seitoku.jp/lib/>

